

第2回 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和3年4月6日(火) 午前10時から正午まで
開催場所	青葉区役所4階401～3会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 横山 順一 (日本体育大学教授)</p> <p>委員 (50音順)</p> <p>相原 照世 (青葉区老人クラブ連合会)</p> <p>大平 良樹 (東京地方税理士会緑支部)</p> <p>杉浦 一夫 (青葉区連合自治会長会)</p> <p>中野 しずよ (特定非営利活動法人市民セクターよこはま)</p> <p>中野 康子 (青葉区中途障害者地域活動センター「青葉の風」)</p> <p>平野 香菜 (青葉区民生委員児童委員協議会)</p> <p>山田 範子 (特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブパレット)</p> <p>山田 秀樹 (株フィールズ第三者評価事業部)</p> <p>【事務局】</p> <p>青葉区福祉保健センター担当部長 吉田 雅彦</p> <p>青葉区福祉保健課長 飯田 常彦</p> <p>青葉区福祉保健課事業企画担当係長 神田 紗弥加</p> <p>青葉区福祉保健課事業企画担当 小池 由季、本島 淑恵</p>
欠席者	無し
開催形態	公開 一部非公開 (応募者からのプレゼンテーション、委員からの質疑、審査及び指定候補者等の決定 (傍聴者0人))
議題	<p>(1) 会議の公開・非公開について</p> <p>(2) 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募について</p> <p>ア 審査までの流れ、採点の考え方、選定方法について</p> <p>イ 応募団体に対するヒアリングの実施について</p> <p>(3) 応募団体プレゼンテーション</p> <p>(4) 質疑応答</p> <p>(5) 指定候補者の選定</p>
決定事項	<p>指定管理者の候補者 (以下「指定候補者」という。) 及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者 (以下「次点候補者」という。) として、次のとおり、横浜市青葉区長に報告することとする。</p> <p>横浜市たまプラーザ地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p> <p>指定候補者：社会福祉法人 緑成会</p> <p>次点候補者：該当なし</p>

議 事	<p>1 審査に係る確認</p> <p>(1) 会議の公開・非公開について 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第9条により原則公開、ただし、「指定管理者の選定に関する審査のうち、応募団体の面接審査」及び「指定管理者の選定に関する審査及び指定候補者の選定」については、同要綱第9条ただし書きにより、非公開とすることを確認した。</p> <p>(2) 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募について</p> <p>ア 審査までの流れ、採点の考え方、選定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員の大項目（1～6）の合計点数が60%以上で、かつ各大項目（1～6）において40%以上の得点を得た場合のみ、選考の対象とすることを確認した。 <p>イ 応募団体に対するヒアリングの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体のプレゼンテーション・質疑応答後に、委員間で意見交換することを確認した。 <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の応募状況について、1団体から応募があったことを報告。選定及び本日の選定の進め方について、確認した。 ・神奈川県警に照会した結果、資格要件の「暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないこと」に関して、該当しないとの回答を受けた旨を事務局から報告した。 ・政策局共創推進課に横浜市税の納付状況調査の確認を行った結果、資格要件を満たしているとの回答を受けた旨を事務局から報告した。 <p>2 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査</p> <p><主な質疑応答></p> <p>(委員) この地区の子育て世代の特徴、課題に対する働きかけや工夫を教えてください。</p> <p>(団体) たまプラーザ地域ケアプラザは駅直結である。年間を通じて遊びに来られてきた親子が、親世代の仕事への復帰が早く、例えば子育ての広場に3～4ヶ月のスパンで来られなくなってきている。 沿線で子供を遊ばせられる場としての認識が、担当地域外にも広がり、担当地域外から来られる方もいる。</p> <p>(委員) 子育て世代も高齢者も、コロナ禍でも会いたいという声を聞いている。イベントが開催できる工夫をして、集まる機会を設けてほしい。 たまプラーザエリアの方は、たまプラーザで完結する傾向があると聞いたことがあるが、区役所やラフールなどでも子育ての支援があるということ伝えてほしい。</p> <p>(委員) 最近災害が多くなっている。福祉避難所としての運営や訓練についてどう考えているのか。</p> <p>(団体) 福祉避難所について、日頃から、地域の防災訓練や防災拠点との連携を密</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

にして訓練を実施している。色々なパターンを想定して、訓練を実施したいと考えている。

(委員) 在宅療養者への支援強化について、訪問薬局の数や、在宅療養支援診療所がエリアの中にどれくらいあり、どのような連携を取っているのか。

(団体) 薬局について、連携しているのは2～3か所ある。運営協議会に参加いただいたり、地域ケア会議への参加を依頼するなど、情報共有して連携している。

(委員) 障害者支援について、コロナ禍において地域の中で、障害者につながるのは難しいと思うが、今後見えない中で、具体的な展望はあるのか。

(団体) 障害があっても社会復帰を目指している方がいらして、ご家族からは、地域ケアプラザで当事者が通ってできることはないかと伺ったことがある。横浜市総合リハビリテーションセンターで就労訓練をして社会復帰をする方もいるので、その一端を地域ケアプラザが担えないかと考えている。支援センター等と連携し、当事者の方の支援になるような事業ができないかと打合せをしている。

次期指定管理において、声を拾いながら継続的に取り組んでいきたい。

知的障害や精神疾患のある方への支援も、それぞれの専門施設と連携して情報共有を密にして、地域ケアプラザとしてできることを考えていきたい。

(委員) 職員のスキルやモチベーションは大事だと思う。育成や研修はどのようなことをモットーにやっているのか。

(団体) 法人としては、昇任者、中堅、経験者、責任者、経営層など階層別研修を行っている。

専門職部分については、現場でのOJTや、職員向けの研修体形がある。

包括については行政などの研修に積極的に参加するよう促している。

専門職の資格取得のための補助体制も作っており、支援体制を設けている。

(委員) 職員のメンタルヘルスについて、どのようなことをやっているのか。

高齢者やお子さんに対して、地域のボランティアをどの様に集めているのか、人数なども伺いたい。

(団体) 産業医と契約して、年1回職員のメンタルチェックを行っている。

人数により義務付けが違うが、法人を通して対応をしていく。外部的な相談コーナーを勧めるなど、気軽に相談できるよう働きかけている。

地域ケアプラザで開催している事業、生活支援体制整備事業のサービスBの運営、子育て向けの講座や見守り活動のボランティアとして携わっていただいている。

地域ケアプラザ内で事業を通じて、ボランティアの周知をしており、登録者が増えてきている。現在、登録者は200名ほどいて、実際活動しているのは半数である。

(委員) 認知症サポーター養成講座について、地域ケアプラザにも協力してもらい

実施している。

サポーターをするというより、自分が認知症にならないようにという観点で受講しているが、効果的なものや、人気のものはあるのか。

(団体) 通いやすいので、やればすぐ定員が満員になるのが特徴。

認知症予防として、人と会って話をしたいという声がある。地域ケアプラザに行く用事があり、そこで人と会話ができる機会があると良いという声が多かったため、そのような機会を作っていきたい。

サロンは4か所しか整備されていないので、人と交流できる場や、見守りあえる場を作りたいと思っている。効果的なものという検証はできないが、どこでも介護予防ができるようにするとともに、脳トレも大切だと思う。

3 指定管理者の候補者の選定

プレゼンテーション及び面接審査並びに事務局から前期の指定管理業務の実績に係る報告を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

指定候補者

社会福祉法人 緑成会

[評価得点/満点：1,967点/2,700点]

(審査講評)

- ・企業との連携やボランティアが多くいるという点は優れていると思う。
- ・高齢者のボランティア活動について、ボランティアの内容も充実させ、より多くの方が参加できる企画があると良い。
- ・まだコロナの状況が続く中、大きな単位での集まりは難しいので、小さな単位での集まりをたくさん作り、直接集まれる機会を工夫して作ってもらいたい。
- ・大きな法人組織を活かして、地域ケアプラザの事業を行って欲しい。
- ・様々なニーズに対してアプローチを行い、ケアプラザを地域にPRして欲しい。

指定候補者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人 緑成会を指定候補者として選定することを決定する。